

第六回首都防災ウィーク特別決議（要請書）

大地震で発生する膨大な瓦礫（コンクリート殻）を建設資源として「人工海底山脈」を築造し、漁業資源の増産に資する取り組みの検討を要請します。

首都直下地震、南海トラフ地震など全国で大地震が切迫しています。被害を軽減し、人命と財産を守るために、耐震化、家具固定、ブロック塀補強などを急がなければなりません。

一方、これらの大地震ではコンクリート殻など膨大な災害廃棄物が発生します。特に首都直下地震では十分な空地の確保が難しいという問題があります。その結果、廃棄物が適切に処理できなければ、首都機能、都市機能の継続・早期復旧が妨げられ、日本経済、世界経済にも未曾有の影響が生じる可能性があります。しかし、震災廃棄物対策の具体的な検討が進んでいるとは思われません。

今日の災害廃棄物処理は単なる処分ではなく、平時と同様、廃棄物を 3R（Reuse:再利用、Recycle:再資源化、Resource 資源化）として活用する考え方が基本になっています。地震で発生する膨大なコンクリート殻も、環境面での十分な検討をふまえて適切に処理し、“安全な資源”として活用すべきです。それを「人工海底山脈」づくりに活用するならば、水産国日本の沿岸部の漁業振興にも役立てることができ、一石四鳥の取り組みになります。迅速な処理、安全な資源確保、漁業振興、そして速やかな復興です。

首都防災ウィークでは、耐震化など地震被害軽減の方策と共に、膨大な廃棄物が復興のネックとなり、地球環境にも負荷を与える状況を何とかしなければならないと考えて検討を行い、決議を採択しました。

この問題を解決するためには、政府各省庁間の連携と広域にわたる自治体間連携を軸に、官民を挙げた取り組みとして行うことが急務です。

このため、中央政府、東京都はじめ全国の都道府県、政令指定都市、市区町村、各政党、経済団体、労働組合、報道機関、諸学会、NPOなどに趣旨へのご賛同と速やかな検討開始をお願いするものです。

平成30年（2018年）9月9日 首都防災ウィーク実行委員会

中林一樹（首都防災ウィーク実行委員会代表、首都大学東京名誉教授）

瀧澤一郎（特定非営利活動法人東京いのちのポータルサイト理事長）

木谷正道（碁石海岸で囲碁まつり実行委員会代表）

賛同者

※「人工海底山脈」

コンクリートブロックを海底に敷設して人工の山脈をつくり、栄養物を表層に集めて光合成を促進し、プランクトンを増やして漁獲高を高めるプロジェクト。

水産庁が1995年に実施した実証事業（長崎県）では、漁獲高は事業前の6倍に増加した。

【説明】

首都直下地震、南海トラフ地震の発生確率は30年以内に70～80%と想定されており、いつ起きても不思議はありません。地震により生命と財産に多大な損害が生じるだけでなく、膨大な災害廃棄物が発生します。

首都直下地震と南海トラフ地震で発生する廃棄物は43千万トンに達し、過半の23千万トンがコンクリート殻と推計されます。これらを環境面での十分な検討をふまえて適切に処理し、資源として活

用することにより、長期の交通麻痺を避け、速やかに復旧復興を開始し、日本と世界経済への打撃を最小限に抑え、創造的に再生させることができます。

そのため、平時には産業廃棄物として都道府県の管理下で処分されている建設廃棄物を、資源化して活用する仕組みを事前に構築し、災害時の廃棄物処理計画にもシームレスに展開することが必要です。

他方、食糧の多くを輸入に依存する我が国では、世界に先駆けて、海洋潮流を利用して水産物を増産する「人工海底山脈事業」を国策として取り組んできました。この「人工海底山脈」建設の資源として、大量のコンクリート殻を利活用できれば、災害廃棄物問題の解決と食糧増産を同時に達成できます。

世界の漁業は、適切な対策がなければ種の多様性崩壊で 2048 年に壊滅すると云われており、日本沿岸でも漁獲の減少が顕著です。本提案は、我が国の重大な社会課題である海洋での食糧増産にも、地球環境の維持にも、大きなメリットがあると考えています。 (関連情報 <https://shutobo.jp/>)

【本件お問合せ先】 ketsugi●freeml.com (●を@に変えてください) 080-7991-4761(事務局)
(中林一樹 090-2678-8231、瀧澤一郎 090-3144-2426、木谷正道 080-7991-4761)

第六回首都防災ウィーク特別決議（要請書）賛同者（第一次分）

大地震で発生する膨大な瓦礫（コンクリート殻）を建設資源として「人工海底山脈」を築造し、漁業資源の増産に資する取り組みの検討を要請します。

平成30年9月13日現在129人 (呼びかけ人3名を除き50音順)

お問い合わせ先：ketsugi●freeml.com (●を@に変えてください) 080-7991-4761 (事務局)

- 1 中林一樹 (首都防災ウィーク実行委員会代表、首都大学東京名誉教授)
- 2 瀧澤一郎 (NPO法人東京いのちのポータルサイト理事長)
- 3 木谷正道 (基石海岸で囲基まつり実行委員会代表、NPO法人暮らしと耐震協議会理事長)
- 4 浅倉陽子 ((公財)日本科学協会)
- 5 浅野史郎 (神奈川大学特別招聘教授)
- 6 安達司郎 (NPO法人東京いのちのポータルサイト監事)
- 7 阿部友昭 (元南三陸町立歌津中学校長)
- 8 有川太郎 (中央大学教授)
- 9 飯田幸代 ((株)マルゴ代表取締役)
- 10 五十嵐敏員 (介護建築設計Face工房1級建築士事務所代表)
- 11 石川弘毅 (ひらつか防災まちづくりの会、環境計量士(濃度関係))
- 12 石鍋博子 (基石海岸で囲基まつり実行委員会副代表(広報委員長))
- 13 石原寛之 (オリジナル設計(株))
- 14 五辻 活 (協同農園のらんぼ村代表)
- 15 出縄守英 ((社福)進和学園副理事長、心の唄バンド、NPO法人暮らしと耐震協議会理事)
- 16 出縄雅之 ((社福)進和学園理事長)
- 17 稲垣弘子 (一級建築士)
- 18 稲葉正人 (稲葉司法書士事務所)

- 19 井上信之 (日本棋院アトムネット支部事務局長、市ヶ谷だんだん支部事務局長)
- 20 岩渕伸一郎 (協和建設工業(株))
- 21 上田和俊 (東久留米市安全・安心まちづくり推進協議会委員)
- 22 上田紘士 (日本棋院墨田支部幹事長)
- 23 宇賀神義宣 ((一社)水産土木建設技術センター理事長)
- 24 海老原夕美 (弁護士)
- 25 大石明広 ((有)地域住環境研究所事務長、NPO法人暮らしと耐震協議会事務局長)
- 26 太田浩一 ((有)ビバマンボ代表取締役)
- 27 大竹臣哉 (福井県立大学教授)
- 28 大畑 健 (ユースタイルラボラトリー(株)代表取締役)
- 29 大元 一 (技術士)
- 30 大和田東江 (碁石地区復興まちづくり協議会会長、碁石海岸で囲碁まつり実行委員会副代表)
- 31 岡田公夫 (あいち防災リーダー会 副会長)
- 32 岡田結美子 (日本棋院棋士)
- 33 岡野谷 純 (NPO法人日本ファーストエイドソサエティ理事長)
- 34 岡本 博 ((株)岡本建築設計事務所代表取締役)
- 35 小川誠子 (日本棋院棋士)
- 36 沖 政和 ((株)安藤・間)
- 37 長船 至 ((株)アイ・エス・エム取締役社長)
- 38 小田順子 ((株)ことのは本舗代表取締役)
- 39 柿島光晴 ((一社)日本視覚障害者囲碁協会代表理事、全国盲学校囲碁大会実行委員長)
- 40 鍵屋 一 (跡見学園女子大学教授、東京いのちのポータルサイト副理事長)
- 41 片山芳洋 (茶道表千家講師)
- 42 加藤 勉 (NPO法人 日本防災推進機構理事長)
- 43 兼子厚司 ((株)IHI建材工業 チーフエンジニア)
- 44 河合 眞 (河合メンタルクリニック院長)
- 45 河上俊郎 (墨田区耐震化推進協議会幹事)
- 46 川端寛文 (名古屋工業大学高度防災工学センター客員教授)
- 47 木村 孝 (マンション管理士(千葉県マンション管理士会))
- 48 金 昌治 (日本棋院大船渡支部長、碁石海岸で囲碁まつり実行委員会副代表)
- 49 熊谷幸典 (研究機関勤務)
- 50 熊澤博樹 (海岸清掃団体 湘南ウキブイ)
- 51 隈元仁志 ((株)クマテックジャパン代表取締役)
- 52 久米信行 (本所消防懇話会会長、多摩大学客員教授)
- 53 栗城優子 (フォーラム大田高次脳代表、高次脳機能障害と囲碁世話人代表)
- 54 栗田 直枝 (NPO 法人働く犬を支援する会 副理事長)
- 55 小久保耕一郎 (「高次脳機能障害者と囲碁の会」講師)
- 56 小村隆史 (常葉大学社会環境学部)
- 57 佐藤隆雄 (技術士)
- 58 佐藤真知子 (接遇研修インストラクター)
- 59 サニー神谷 (一社)日本防災教育訓練センター代表)
- 60 佐野和子 (心の唄バンド・パーカッション・手話通訳)

- 6 1 篠原憲一 (被災地支援ショップかえる副代表、NPO暮らしと耐震協議会副理事長)
- 6 2 篠原康明 (NPO法人ふるさとテレビ理事)
- 6 3 柴田いづみ(滋賀県立大学名誉教授、結のまちづくり研究所代表、東京いのちのポータルサイト副理事長)
- 6 4 柴本 礼 (イラストレーター・高次脳機能障害コウジ村代表)
- 6 5 下川 弘 (C&C21 研究会 事務局長)
- 6 6 東海林 修 (慶應義塾全国通信三田会、慶應義塾神奈川通信三田会)
- 6 7 進 哲美 (NPO法人囲碁国際交流の会前代表、元道路公団職員)
- 6 8 鈴木一誠 (機械設計技師)
- 6 9 鈴木達雄 ((株) 人工海底山脈研究所代表取締役)
- 7 0 鈴木文雄 ((一社) 東京都建築士事務所協会墨田支部長、墨田区耐震化推進協議会会長)
- 7 1 寿乃田正人 (NPO法人東京いのちのポータルサイト副理事長)
- 7 2 住吉泰男 ((公財) 東京都慰霊協会理事長)
- 7 3 聖成崇夫 (囲碁伊勢山道場席主)
- 7 4 高橋 洋 ((株) 防災都市計画研究所シニアコンサルタント)
- 7 5 高橋正征 (東京大学名誉教授、高知大学名誉教授)
- 7 6 高橋容子 (ちりめん細作家)
- 7 7 竹DS (心の唄バンド・サインヴォーカル)
- 7 8 竹内純一 ((株) 新東工業株式会社顧問)
- 7 9 武田浩一 (武田整形外科医院)
- 8 0 武久由紀子 (囲碁普及指導員)
- 8 1 谷 俊朗 (東京農工大学名誉教授)
- 8 2 谷川健正 ((有) 谷川工務店代表取締役、NPO法人暮らしと耐震協議会副理事長)
- 8 3 田村 満 ((株) キャッセン大船渡代表取締役社長、岩手県中小企業家同友会代表理事)
- 8 4 中里 謙 (NPO法人暮らしと耐震協議会会員、一級建築士)
- 8 5 中里利男 (辻堂駅前ハイツ シニアクラブ会長、平塚盲学校囲碁ボランティア世話人)
- 8 6 中谷幸俊 (ITバリューアソシエイツ(株) 代表取締役)
- 8 7 中野明安 (丸の内総合法律事務所弁護士)
- 8 8 中村哲啓 (日本大学豊山中学高等学校囲碁部コーチ)
- 8 9 中村 充 (福井県立大学名誉教授)
- 9 0 名越謙治 (元NPO法人車いす社交ダンス平塚支部長)
- 9 1 新沼岩保 (アイエヌジオ技術士事務所、気仙・三陸ジオパーク推進会議)
- 9 2 根本千野 (目黒区高次脳機能障害者家族会代表、高次脳機能障害と囲碁世話人)
- 9 3 信田成仁 (日本棋院棋士)
- 9 4 橋本 牧 ((公社) 全国漁港漁場協会会長)
- 9 5 長谷川加奈美 (囲碁普及指導員)
- 9 6 羽田富美江 (鞆の浦・さくらホーム施設長)
- 9 7 羽田晋一 (「信州囲碁新報」編集者)
- 9 8 濱出昌子 (精神保健福祉士、目黒区高次脳機能障害者家族会会員、高次脳と囲碁世話人)
- 9 9 濱中拓郎 (日本工営 (株))
- 1 0 0 原 香織 ((株) 人工海底山脈研究所)
- 1 0 1 原園信夫 (みんなでつくる平塚代表)
- 1 0 2 東川悦子 (みんなでつくる平塚)

103	福井義行	((有)地域住環境研究所代表取締役、NPO法人暮らしと耐震協議会副理事長)
104	福川勝己	(岐阜県立岐阜盲学校 部主事)
105	福田恵子	(国立感染症研究所)
106	藤井 聡	(内閣官房参与、京都大学大学院教授)
107	藤田千晴	(中小企業診断士)
108	藤村望洋	((一社)日本海洋観光推進機構専務理事)
109	古川卓嗣	(清和(株))
110	古川裕子	(清和(株))
111	細田 暁	(横浜国立大学教授)
112	本田陽一	((株)環境風土テクノ)
113	前中良介	(元横浜火種の会事務局)
114	松岡紀雄	(神奈川大学名誉教授)
115	松田佐知子	(心の唄バンド・マネージャー)
116	松山正弘	(技術士)
117	三木靖子	(心の唄バンド)
118	水野伸子	(愛知東邦大学教授)
119	水間俊文	(日本棋院棋士)
120	宮野一也	((株)安藤・間 土木営業本部)
121	森 祥二郎	((株)ユーコーコーポレーション代表取締役)
122	森本陽子	(生命倫理カフェ・ねりま主宰)
123	山口 哲	((株)アトム代表取締役)
124	山田剛史	((株)誠廣社代表取締役)
125	山本耕平	((株)ダイナックス都市環境研究所代表取締役(所長))
126	山本 好	(司法書士)
127	横内康行	(東京都セルフセンター事務局長、東京いのちのポータルサイト監事)
128	吉川忠寛	((株)防災都市計画研究所代表取締役)
129	和田千重	(日伊の架橋一朋・アミーチ会長(イタリア在住))